



5月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の5月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

荒木 貴裕
(東京ヤクルトスワローズ)
初受賞

荒木選手は、5月14日(日)松山・坊っちゃんスタジアムで行われた対中日ドラゴンズ7回戦、1対1で迎えた9回裏、二死満塁の場面で左翼席へサヨナラ満塁本塁打を放ちました。

この試合は、初回に中日が1点を先制しましたが、東京ヤクルトは、2回裏に同点に追いつきました。その後、東京ヤクルト投手陣は中日打線に毎回の安打を浴びながらも粘りの投球で無得点に抑え、両チームとも一進一退、得点が奪えない状況が続きました。9回裏、相手投手の3四球で満塁の好機を作ると荒木選手に打席が回り、2ボールからの3球目を力強く振り抜くと、打球はレフトスタンドに突き刺さり、自身初のサヨナラ打はサヨナラ満塁本塁打となりました。東京ヤクルトは4月2日(日)の対横浜DeNA3回戦でも鵜久森選手がサヨナラ満塁本塁打を放っており、同一チームによるシーズン2度のサヨナラ満塁本塁打はセ・リーグ史上初となりました。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

駿 太
(オリックス・バファローズ)
初受賞

駿太選手は、5月7日(日)京セラドーム大阪で行われた対北海道日本ハムファイターズ8回戦、3対3で迎えた12回裏、一死満塁の場面で右前へサヨナラ安打を放ちました。

この試合は3回表に北海道日本ハムが2点を先制、オリックスはその裏にT岡田選手の適時打で1点を返しました。4回裏には若月選手、西野選手の適時打で逆転に成功しましたが、6回表に同点に追いつかれ、そのまま延長戦へ突入しました。12回裏は小谷野選手、中島選手の安打、伊藤選手の四球で生まれた好機から、駿太選手の劇的な一打が飛び出し、11回表、12回表を抑えた赤間投手がプロ初勝利をあげました。駿太選手はこの日自身初のゲーム4安打をマーク、サヨナラ打は2015年以来2年ぶり2本目、その後5月31日(水)の対東京ヤクルト2回戦でもサヨナラ打を放ちました。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



(参考)過去の受賞選手

【月間スカーパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルデリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B.レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島)	B.レアード (日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (DeNA)	B.レアード (日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度		
7月度		
8月度		
9月度		



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカーパー!ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2015年度	雄平 (ヤクルト)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島)	吉村 裕基 (ソフトバンク)